



十日町 Tokamachi

市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成27年1月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

No.42



若木 迎え



五穀豊穡を祈る小正月行事 ～1月11日「森の学校 キョロロ」～

Contents

今号の内容

- ▶ 一般質問(8人) 2～5
- ▶ 補正予算と主な事業 6～7
- ▶ 議会日誌 6
- ▶ 会派通信(政策クラブ 自由の風) 7
- ▶ 議決結果 8～9
- ▶ 議会傍聴 9
- ▶ 常任委員会審査結果 10
- ▶ 議会レポート 11～12



花餅まつり

観光客の誘致策により地域経済を 活性化し市民所得の向上を



村山 達也 議員

質問① ①前回と比べ、今回の

デスティネーションキャンペーンへの取組みが寂しかったのでは。②増加している外国人旅行者の誘致策とおもてなしに注力

を。③観光拠点の見せ方の見直しと維持管理計画の作成は。④北陸新幹線の開業で期待される関西圏の誘客策は。⑤駅に新設される観光案内施設は、観光客のため故郷十日町の良さを前面に出して「非日常」の演出を。

答弁① ①JR東日本新潟支社のパンフレットにイベント情報の掲載や、さまざまなPRイベントに参加しました。②新潟県

等が実施する商談会や海外メディア、旅行代理店の招へい等のPRを行ってきました。さらに政府観光局と連携し、世界14都市の海外事務所との連携を活かした情報発信を進めます。おもてなしに関しては、観光案内看板、パンフレット、情報アプリの作成に取り組んでいます。③雑誌などで里山の自然景観に注目が集まっていることから、地域との協働で棚田付近の駐車場整備と景観改善の雑木伐採を行いました。芸術作品はメンテナンスを施し、より良い状態で鑑賞できるよう整備し、清津峡は

温泉街入口までバスの乗り入れができるよう整備しました。④上越妙高駅はダイヤ改正中ですが、広域連携により、駅の観光案内所を拠点に電子看板等でPRし、飯山駅観光案内所でのPRや、駅1階に併設される山岳高原アクティブセンターにおいても、トレッキング、ラフティング等、十日町の魅力を発信したいと考えます。県の物産館を活用し、関西での知名度向上に努めます。⑤駅高架下には観光案内所とテナントに加え、来訪者がくつろげる空間を設けます。映像や音声等で他にはないもの



ほくほく線十日町駅イメージ図

を予定しており、それを目的に考えています。

十日町市の農業経営について



村山 邦一 議員

質問① 安倍首相は40年以上続

いた米の生産調整を5年後に廃止と決めた。民間企業参入の障壁をなくし、人為的な需給コントロールをやめ、作りたいだけ

作る。一俵9、600円に耐える企業経営と大規模経営で農業の8割を担うという。26年の米価下落で「米を作っても飯が食えない」「来年の見通しも立たない」と、声が寄せられてくる。そこで三点について伺う。

①26年産米の収量、農家収入をどう認識か。②行政として支援は。③農家の担い手確保は。

答弁① ①市町村別の平均単収

はまだ発表されていませんが、魚沼地域の作況指数から推計した当市の平均単収は513kgと見込んでいます。農家の収入見込みは、米価下落、交付金減少、作況、1等米比率の向上を考慮した試算で、生産調整に協力した1ha規模の水田経営の場合、約2割もの減少で厳しい状況にあると受け止めています。②国の助成に加え、10a当たり備蓄米は3、500円、飼料用米は1万円の上乗せ助成を行い、需要に応じた生産になるよう誘導しています。また、米価下落の緊急対策として、農協の緊急

農業経営安定対策資金の低利融資と連携し、市も利子補給をしています。③担い手を中心とした集落の営農体制の整備が不可欠と考え、市内18地区において地域の担い手を明確化し、持続可能な地域農業の確立を目指す「人・農地プラン」の作成を推進しています。そのうち、3地区においてすでにプラン策定が終了しています。また、認定農業者には各種のメリットある措置があり、認定農業者を増やし、地域の担い手とするため、認定農業者の要件を緩和しました。今後



東京の保育園児の稲刈り体験

は、中山間地でも、農地集積・集約化が進むよう、引き続き担い手の確保に取り組めます。

新教育委員会制度と

原子力防災の充実を



涌井 充 議員

ビジョンは。④改革でいじめ等、教育委員会の課題を解決、活動力を高めることができるのか。

答弁1 ①主な改正点として、1つ目は教育委員長と教育長が一本化した新制度での教育長の設置、2つ目は教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化、3つ目は市長と教育委員会が構成される総合教育会議の設置、4つ目は教育行政の大綱を市長

質問1 ①来年4月1日施行の改正地方教育行政法で教育委員会制度の主な改正点は。②市長、教育長はどう受け止め教育行政をどう進めるか。③市長の教育

が策定するという4点が大きな柱です。②新制度のもと教育委員会と連携を深め総合的に子どもたちに良好な環境を整えます。常勤の教育長が最高責任者となり、これまで以上に市長との連携を深める必要があると考えます。③多様な価値観に対応する人を育てるのが教育と考え、新制度の中で実現できるよう努めます。④総合教育会議のほか、いじめ防止基本方針を年度内に策定し、きめ細やかな対策をとれるようにします。市長、教育委員の相互理解が深まり、活性化・活動力の向上につながると

期待します。

質問2 ①原子力災害で市民の命を守る避難計画策定と周知は。

②安定ヨウ素剤の配布は。③全市民を対象とした原子力防災訓練の実施について

答弁2 ①県と歩調を合わせ、柏崎市とも整合性を図りながら計画策定を検討しています。市報や冊子の配布、説明会等を考えています。②検討会を設置し、備蓄や配布・服用の検討を始めました。全市民への配布は、国の方針決定後にお知らせします。③県の原子力防災訓練に参加するとともに、市独自に屋内退避

源をしっかりと見て、しっかりと計画を立てた中で、それに向かうとなれば、市民生活のレベルをむしろ向上させる再築投資と感じています。

大型公共事業から暮らし優先へ 賃金引き上げを



安保寿隆 議員

答弁1 これまで行われてきた金融緩和と政策等により、経済状況のトレンドは回復途上にあると考えます。地方の景気等は都市部に比べ回復が遅れているとは思いますが、今後国からは多角的に地方創生に取り組んでいただき、地域の振興、経済の発展を通して大いに地方経済を盛り上げてもらいたいと期待しています。

質問1 11月17日の内閣府速報値、国内総生産（GDP）の二期連続の減少、物価の上昇、実質賃金の16カ月連続減少をどのように見るか。

答弁2 新しいものではなく、今あるものを20年、30年、40年と使えるようにグレードアップする工事です。昭和30～40年代の建物が多くあり、老朽化して建てかえの時期になっています。市民としっかり議論する中で財

質問2 文化ホール42億円、博物館24億円、中里体育館14億円、市役所9億円、中心市街地活性化20～30億円など、大型事業に10年間で約300億円、ほかに大地の芸術祭で29億円かけている。もちろん必要なものもあるが、「箱物行政」との批判もある。どう考えるか。

答弁3 臨時職等（市長、副市長、教育長）の手当引き上げを予定しているが臨時職員賃金を引き上げる考えはないか。

答弁3 臨時でありながら正職員と変わらないような特定の仕事をされている皆さんに対しては、その労働環境の改善のため賃金のベースを上げようということ、すでに数年前から取り組んでいます。県内でも高い方

等々の訓練を行いました。今回の訓練の検証結果を今後の訓練の拡充につなげていきます。



教育委員会の様子

です。ので、給与水準等、市としては一定の配慮をしているものと考えています。

●おもな大型公共事業

・中心市街地活性化	50～60億円（文化ホール含む）
・博物館	24億円（H26～28年度）
・市役所・支所改修	12.7億円（H17～26年度）
・中里体育館	14.7億円（H22～25年度）
・小中学校耐震化	65億円（H19～25年度）
・ごみ処理施設	28億円（H25～28年度）
・下水処理センター	25億円（H20～28年度）
・浄水場	28億円（H25～32年度）
・消防庁舎	17億円（広域事務組合24～27年度）
・キナーレ改修	1.8億円（H23～24年度）
・大地の芸術祭	27億円（H21～25年度決算額）

（安保寿隆議員作成）

活かせ

「まち・ひと・しごと創生法」



小野嶋哲雄 議員

決に向けて「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。これをいかに先取りし活用するかが疲弊する当市の喫緊の課題です。

そこで次の点について伺います。

質問1 「日本創生会議」の「ストップ少子化・地方元気戦略」の提言を受け、国は成長戦略として人口の減少・少子化と高齢化で疲弊し続ける地方の課題解決に向けて

①創生法の内容の詳細分析状況について
②成立した創生法を受け、当市の各地域・各団体を巻き込んだ

十日町版の創生会議の設置等の具体的な考えは。

答弁1 ①現在政府は、50年後に1億人程度の人口維持を目指す「長期ビジョン」と人口減を克服し活力ある日本社会の実現のための5カ年計画である「総合戦略」をまとめ中です。具体的な施策及び支援制度等はこれから示されます。さらなる活力を生み出すため、国、県の動向を注視し、関連事業の決定や予算化について、時期を逸することなく適切に判断します。

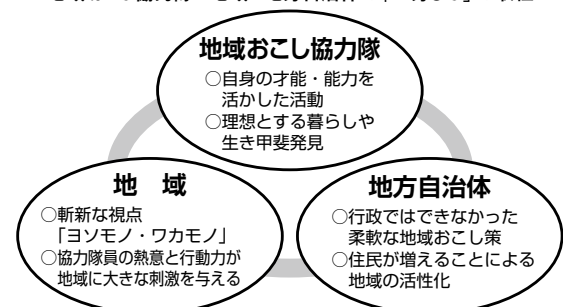
②当市においては、人口ビジョン及び総合戦略と、第二次総合

計画の策定の時期が同じですので、総合計画の中に地方創生の政策を組み込むべく準備を進めています。地方創生に関してもこの総合計画審議会で議論を深めたいと考えていますので、十日町版の創生会議は今のところ設置する予定はありません。

この地方創生は、地方が疲弊していることを、国全体の最重要課題と位置付け、国と地方が総力を挙げて推進するものです。今は、その大きな追い風を受けながら、まちづくりができる絶好のチャンスと捉え、十日町市を次の世代にしっかりと手渡す

地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方自治体の「三方よし」の取組～



ことができるよう取り組みたいと考えています。

首相官邸HPより

東京オリンピック聖火台の

デザイン要望について



吉村重敏 議員

質問1 ①縄文文化発信策として陸上競技場に火焰型土器聖火台、笹山遺跡と国道117号に縄文モニュメントの設置を。②国宝火焰型土器のレプリカを3

Dプリンターで製作しては。③縄文国宝サミット、縄文文化発信会議の検討は。④縄文発信事業の統括部門の新設は。⑤市民が知恵と汗を提供すべき時、職員知恵出し会議、経済、地域団体に要請は。⑥新博物館と並行して国宝展示可能施設を含めた火焰の都整備事業の推進を。

答弁1 ①聖火台、モニュメントの設置ですが、現在、聖火台のデザイン採用活動中であり、あらかじめ設置することが効果的なのかどうか判断が難しく当面、設置は考えていません。②博物館で3Dプリンターでのレプリカ製作の検討を始めました。③縄文の国宝を持つ自治体が連携して情報発信するという考えは一致していますので、今後、他市とも相談しながら、サミット等の開催が可能か検討したいと考えます。④現在の組織体制の中で効果的な活動ができる方策について検討を進めることとしており、所属の新設は当面考えていません。⑤知恵出し会議

は5年を経過し所期の目的を達成しました。27年度以降、新たな仕組みづくりを構築したいと考えます。市民や民間団体から自発的な行動をいただけるよう、機会を捉え、情報発信を行いたいと考えます。⑥新博物館の建設が決まり、笹山遺跡の国宝館建設は難しいと考えています。国宝は新博物館で展示と管理を行い、笹山遺跡では「見る」「感じる」「触れる」等、国宝出土地でしか経験できない、縄文の魅力体験・発信する場として整備するのが良いと考えています。火焰の都整備事業は地元

の中条地区振興会と協議しながら推進していきます。



新潟国体の聖火台(昭和39年) 写真提供 新潟日報社

一般会計補正予算と主な事業

12月定例会

《補正第3号》

平成26年12月14日執行の衆議院議員総選挙に係る経費を専決処分し予算化しました。

○衆議院議員総選挙費

3、996万円

《補正第4号》

降雪期に向けて除排雪経費の追加補正のほか、中心市街地活性化関連事業の追加補正などを行いました。

○普通財産取得費

（財政課）

・土地開発公社土地取得に係る補正

7、760万円

○公民館所管基金積立金

（中央公民館）

・公民館建設資金積立金の補正
4億4、000万円

○とおかまち応援基金積立金

（企画政策課ほか）

・とおかまち応援寄附金の積立金の追加

1、600万円

○地域子育て支援センター整備事業

（子育て支援課）

・地域子育て支援センター「くるる」の旧田倉跡地への移転経費等の追加

1億2、000万円

○認可保育所運営事業

（子育て支援課）

・公立保育所臨時職員賃金の追加等

6、751万円



地域子育て支援センターくるる

○地方公共団体技術導入率先補助事業

（環境衛生課）

・利雪親雪総合センター、みよしの湯再生可能エネルギー導入事業の補正

2、100万円

○じん介処理費

（環境衛生課）

・落雷によるごみ焼却施設の電源基盤等の修繕料の補正ほか

2、510万円

議会日誌

10月
12月

【10月】

1日～2日

・総務文教常任委員会行政視察

8日～9日

・厚生環境常任委員会行政視察

14日・議会運営委員会

・議会改革特別委員会協議会

21日・十日町市・魚沼市・南魚沼市議会役員合同研修会

24日・総務文教常任委員会

・厚生環境常任委員会協議会

28日～29日

・産業建設常任委員会行政視察

【11月】

7日・厚生環境常任委員会

11日・総務文教常任委員会

・産業建設常任委員会

【12月】

・議会改革特別委員会協議会

12日・東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所視察

17日・十日町市議会主催まちづくり講演会

21日・議会改革特別委員会

28日・議会運営委員会

【12月】

5日～12日

・平成26年第4回定例会

5日・本会議（諸般の報告・議案審議）

・産業建設常任委員会・総務文教常任委員会合同委員会

8日～9日

・本会議（一般質問）

8日・議会だより編集委員会

9日・総務文教常任委員会

10日・総務文教常任委員会

・産業建設常任委員会

11日・厚生環境常任委員会

・議会運営委員会

12日・本会議（常任委員長報告・追加議案審議）

・全員協議会

17日・議会改革特別委員会

25日・総務文教常任委員会

○経営所得安定対策事業

(農林課)

- ・農地面的集積促進事業における農地集積協力金の追加

5、250万円

○一般土地改良事業

(農林課)

- ・農業水利施設保全合理化事業の追加

3、020万円

○中心市街地活性化推進費

(中心市街地活性化推進室)

- ・旧田倉跡地整備経費及びほくほく線高架下整備に係る経費等の追加

3億9、322万円

○十日町市観光振興費

(観光交流課)

- ・ほくほく線十日町駅観光案内所整備事業の追加等

1、420万円



ほくほく線十日町駅イメージ図

○松之山地域観光振興費

(松之山支所地域振興課)

- ・バイナリー発電に使用した温泉水を路面融雪等に再利用するための工事経費等の補正

1、590万円

○道路除雪費

(建設課ほか)

- ・市道除雪委託料の追加ほか

3億5、240万円

○消雪パイプ修繕事業

(建設課ほか)

- ・各地域の消雪パイプの更新及び修繕経費の追加

2、646万円

○市民文化ホール・中央公民館

建設事業

(生涯学習課)

- ・施設整備工事費の追加

1億2、910万円

○遺跡調査発掘事業

(文化財課)

- ・県道小千谷十日町津南線の遺物出土に伴う貝野沖遺跡の本調査に係る経費の追加

1、200万円

○過年発生農地農業用施設災害

復旧事業

(農林課)

- ・23年災害の精算による国庫返納金の補正

3、151万円



◆政策クラブ自由の風

当会派では、特色ある学校教育に先進的に取り組む二カ所の学校を視察してまいりました。

和歌山県橋本市の私立「学校法人きのくに子どもの村学園」は、子どもの自立心をいかに育むかを追及している学園でした。ここでは、テストや宿題、黒板も、チャイムもなく、教師が生徒に教えるという姿は見られません。

教育方針に「自己決定の原則」とあり、クラス、全校、寮（入居7割）において、ミーティングを実施、この話し合いの中で、学習、行事の計画が決められていき、それに沿って教師の手を借りることもなく自発的に行動していました。「個性化の原則」では、個性を尊重し、学習や活動を自由に選び、クラス選択も自由でした。そして「体験学習の原則」でも、教科書での学習ではなく、実際に作ったり調べたりする活動を「プロジェクト」と呼び、その活動が時間割の半分を占めています。その中から人間関係の術を学び、知的探求の態度と力を付けていくとのこと

とでした。

一方、佐賀県の「武雄市が取り組む学校教育」の視察では、タブレット端末で調べ学習を行うほか、テスト等の正誤をリアルタイムで教師の端末に反映し、ピンポイント指導を行います。また、電子黒板で意見や解答例を全員で共有し、電子教科書の活用も行なっています。27年度からは公立学校と民間学習塾による、「官」のシステムに「民」のノウハウを融合させた、初の「官民一体型」の学校を創設する計画です。また、生徒募集に当たっては、居住を条件に全国へ募集をかけ、定住促進に繋げたい考えです。

今回の会派視察で、学校運営のあり方や教育方針など、いろいろな面で大きな勉強をさせていただきました。

今後の市政運営に生かしてまいりたいと思います。

(近藤紀夫)



武雄市行政視察

12月定例会議決結果

議案番号等	件 名	採決状況	議決結果
市長提案 出 議 案	104 専決処分の承認（平成26年度十日町市一般会計補正予算〔第3号〕）	全員賛成	承認
	105 監査委員の選任（酒井 栄一 ^{さか い えいいち} 氏）	全員賛成 （投票）	同意
	106 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	全員賛成	原案可決
	107 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定		
	108 市道の廃止〔珠川東田沢線、珠川東田沢1号線、松代小学校線〕		
	109 市道の認定〔珠川東田沢線、岩野5号線、珠川東田沢1号線、松代小学校線、松代上町1号線〕		
	110 字の変更〔ほ場整備事業に伴う換地による字界の変更（赤倉地区）〕		
	111 字の変更〔ほ場整備事業に伴う換地による字界の変更（白羽毛地区）〕		
	112 字の変更〔ほ場整備事業に伴う換地による字界の変更（清水日影地区）〕		
	113 十日町市農山漁村地域就業促進施設条例の一部を改正する条例制定		
	114 十日町市松代ファミリースキー場条例の一部を改正する条例制定		
	115 十日町市松之山温泉スキー場条例の一部を改正する条例制定		
	116 区画整理事業による住所表示の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定		
	117 地籍調査事業による住所表示の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定		
	118 十日町市駐車場条例の一部を改正する条例制定		
	119 指定管理者の指定（十日町市職業訓練施設）		
	120 指定管理者の指定（十日町市駅通り駐車場）		
	121 指定管理者の指定（仙田体験交流館）		
	122 指定管理者の指定（十日町市大蔵寺牧場及び十日町市大蔵寺畜舎）		
	123 指定管理者の指定（十日町市農林産物直売所及び十日町市大蔵寺高原森林総合利用休養休憩施設）		
	124 指定管理者の指定（十日町市農産物加工直食施設）		
	125 指定管理者の指定（越後妻有交流館キナーレ）		
	126 指定管理者の指定（ナトゥーラ）		
	127 指定管理者の指定（珠川ネイチャーカレッジ）		
	128 指定管理者の指定（十日町市健康増進施設、十日町市川西総合緑地公園、里創プラン川西ステージ及び千手温泉）		
	129 指定管理者の指定（十日町市中里ふるさと館）		
	130 指定管理者の指定（十日町市清津峡渓谷歩道トンネル、ミオンなかさと及びゆくら妻有）		
	131 指定管理者の指定（十日町市松代ファミリースキー場、十日町市まつだい芝峠温泉施設及び十日町市まつだいふるさと会館）		
	132 指定管理者の指定（松之山温泉スキー場、鷹の湯及び十日町市大蔵寺高原森林総合利用施設）		
	133 指定管理者の指定（十日町市利雪親雪総合センター）		
	134 十日町市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定		
	135 十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定		
	136 十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定		

市長提出議案	137	十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	全員賛成	原案可決
	138	十日町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定		
	139	十日町市発達支援センター条例の一部を改正する条例制定		
	140	指定管理者の指定（十日町市身体障がい者福祉センター）		
	141	指定管理者の指定（川西高齢者コミュニティハウス）		
	142	指定管理者の指定（松代ゆうあいセンター）		
	143	指定管理者の指定（十日町市松代デイサービスセンターほのぼの園及び十日町市松代デイサービスセンターつるかめ園）		
	144	指定管理者の指定（ゆうゆう荘）		
	145	平成26年度十日町市一般会計補正予算（第4号）	賛成多数	原案可決
	146	平成26年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	原案可決
	147	平成26年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）		
	148	平成26年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
	149	平成26年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）		
	150	平成26年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）		
	151	平成26年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第3号）		
	152	平成26年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）		
議会提出議案	9	十日町市議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例制定		
	10	十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定		
	11	議員派遣		
請願	5	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願	賛成少数	不採択

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。
(○：賛成、×：反対、－：欠席) ※議長は議決に加わらず。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	政策クラブ 自由の風										日本共産党 十日町市議団			ふくまの会			三矢会			市民クラブ 派			無会派		
				近藤紀夫	羽鳥輝子	宮沢幸子	小林弘樹	遠田延雄	吉村重敏	藤巻誠	高橋俊一	福崎哲也	大嶋由紀子	村山邦一	安保重隆	鈴木和雄	飯塚茂夫	仲嶋英雄	庭野政義	小嶋武夫	鈴木一郎	村山達也	太田祐子	小林均	小野嶋哲雄	涌井充	高橋洋一	川田一幸
145	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
請5	不採択	5	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	※

議
会
傍
聴

▼市民の声（松代70歳男性）
市議会傍聴雑記

私は今回、初めて市議会の傍聴に参加しました。
質疑の応答を聞いていて感じたことは、質問者である議員は、良く調査し、勉強していて自分の考えをわかりやすく発言されているなど感じました。市長はじめ答弁者も、真摯で的確な言葉でいてねいに答えていて良かった。持ち時間の50分という時間を短く感じさせる中身の濃い質疑応答で良かった。
選挙のときに投票して、あとはお任せではなく、私たちが自らが疑問に思ったこと、要望などを議員と共に市政に反映させる努力が必要であると強く感じました。
次回からも、時間の許す限り、ぜひ傍聴して、市の考え方や動きを継続的に見ていきたいと思います。
える貴重な体験でした。

傍聴においでください
次の3月定例会は、3月上旬に予定しています。詳しくは議会事務局へご照会ください。

常任委員会

TOKAMACHI

審査結果

提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

12月定例会

総務文教常任委員会

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

◆市職員の給与に関する条例の一部改正

いずれも原案どおり可決しました。

◆年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願

不採択となりました。

産業建設常任委員会

◆市道の廃止

◆市道の認定

◆字の変更

◆農山漁村地域就業促進施設条例の一部改正

◆松代ファミリースキー場条例の一部改正

◆松之山温泉スキー場条例の一部改正

◆区画整理事業による住所表示の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定

◆地籍調査事業による住所表示の変更に伴う関係条例の整理に関する条例制定



12/10 産業建設常任委員会

◆駐車場条例の一部改正

◆指定管理者の指定（15件）※

・市職業訓練施設

・駅通り駐車場

・仙田体験交流館

・大蔵寺牧場及び大蔵寺畜舎

・農林産物直売所及び大蔵寺高原森林総合利用休養休憩施設

・農産物加工直食施設

・越後妻有交流館キナーレ

・ナトウーラ

・珠川ネイチャーカレッジ

・健康増進施設、川西総合緑地公園、里創プラン川西ステ

・ジ及び千手温泉

・中里ふるさと館

・清津峡溪谷歩道トンネル、ミオンなかさと及びゆくら妻有

・松代ファミリースキー場まつ

・だい芝峠温泉施設及びまつだ

・いふるさと会館

・松之山温泉スキー場、鷹の湯

及び大蔵寺高原森林総合利用施設

・利雪親雪総合センター

いずれも原案どおり可決しました。

・松代ゆうあいセンター

・松代デイサービスセンターほのぼの園及び松代デイサービスセンターつるかめ園

・ゆうゆう荘

いずれも原案どおり可決しました。

・松代ゆうあいセンター

・松代デイサービスセンターほのぼの園及び松代デイサービスセンターつるかめ園

・ゆうゆう荘

厚生環境常任委員会

◆福祉事務所設置条例の一部改正

正

◆国民健康保険条例の一部改正

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定

◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

◆発達支援センター条例の一部改正

◆指定管理者の指定（5件）※

・身体障がい者福祉センター

・川西高齢者コミュニティハウス

・松代ゆうあいセンター

・松代デイサービスセンターほのぼの園及び松代デイサービスセンターつるかめ園

・ゆうゆう荘

いずれも原案どおり可決しました。

・松代ゆうあいセンター

・松代デイサービスセンターほのぼの園及び松代デイサービスセンターつるかめ園

・ゆうゆう荘

いずれも原案どおり可決しました。

・松代ゆうあいセンター

・松代デイサービスセンターほのぼの園及び松代デイサービスセンターつるかめ園

・ゆうゆう荘

いずれも原案どおり可決しました。

・松代ゆうあいセンター

・松代デイサービスセンターほのぼの園及び松代デイサービスセンターつるかめ園

・ゆうゆう荘

※指定管理者制度とは…

指定管理者制度は、多様化する市民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間やNPO法人、地域で活躍されている人々のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とする制度で、これまで公共的な団体等に限定されていた公の施設の管理運営を民間事業者等も含めた幅広い団体にも委ねることができるようになりました。

今定例会では、20件の指定管理者を指定する議案が提出され可決されました。



総務文教常任 委員会報告

★十日町市まちづくり基本条例
に関する審議について

4/16にまちづくり基本条例
(原案)の説明を受けた以降、
4/22、5/30、8/11と委員
会で議論を重ね、9月議会最終
日に条例が可決されました。

★市民文化ホール・中央公民館
の審議について

6/11市民文化ホール・中央
公民館の基本設計について説明
を受けました。

10/24設計見直し案が示され
ました。委員からは、労務費等
の上昇をはじめ、事業費の増加
について調査・分析した上で概
算経費を示すべきこと、2つの
機能が中途半端になるようなこ
とがあつては困る、将来に禍根
を残すことのないよう慎重に進
めて欲しい等の意見が出されま
した。

11/11前回の委員会では出され

た意見に対しての説明を受けま
した。委員からは、早急に市民
説明会を実施すること、必要な
ものはきちんと確保すること、
文化的視点を考慮すること等の
意見が出されました。

この施設が将来にわたり市民
から愛され、活用されることを
願ひ、今後も委員会で議論を重
ねたいと考えます。

★管外視察報告(10/1・2)

○福井県勝山市

「学校法人きのくに子どもの
村学園、かつやま子どもの村小・
中学校」を視察しました。

廃校となった小学校を私立の
学校法人が小・中学校として活
用して、自由な子どもへの育
成を基本方針に定め、自己決定
、個性化、体験学習、基礎学習
、ミーティングに重点を置く未来
志向の学校でした。

○岐阜県加茂郡白川町

『統廃合をしない宣言』をし
た町における少人数学級の取組
みを視察。30年前から学校の統
廃合は行っており、国語、数
学、社会、音楽は兼務辞令によ
り教師が小中両方のクラスで授
業を行っています。「生まれ育

議会改革特別 委員会報告

○10月24日

政務活動費と、議員活動実態
調査についてを議題としました。

(1) 政務活動費について

はじめに、前回、8月21日の
委員会で10項目とした対象経費
を、条例の別表として規定する
ことを確認しました。

次に、10項目とした対象経費
の具体的な支出基準について協
議を行い、協議の結果、改正案
について、各会派での検討をお
願ひし、その結果を整理しなが
ら、次回以降に、支出基準につ
いての議論を重ねていくことを
確認しました。

(2) 議員活動実態調査について

調査を開始してから、半年分
である9月分までの報告がなさ
れている状況を踏まえて協議を
行いました。

った地域こそが故郷」と教育長
の熱い理念が貫かれた町でした。

協議の中では、調査協力議員
を交えて意見交換を行うべきと
いった意見や、中間報告を行う
ことも必要といった意見、また、
特別委員会の中で、集計データ
に基づいた議論を重ねていく必
要があるといった意見が出され、
その結果、半年分である9月分
までの報告に基づいて、調査協
力議員を交えた中で意見交換を
行うことを確認しました。

○11月21日

政務活動費と、議員活動実態
調査についてを議題としました。

(1) 政務活動費について

前回の会議を受け、運用指針
の改正案について、各会派での
検討結果の取りまとめを基に協
議を行いました。協議の結果、
特に各会派から意見・指摘の無
い部分は現行及び改正案のおお
りとするとし、また、支払
証明は今までどおり認めないこ
と、中央要望活動は要請・陳情
活動費として支出対象とすべき
ことを確認いたしました。

協議の中で結論が出なかった、
旅費、通信費及び広報費の取扱

いについては、今回の協議を考
慮して、改めて各会派で検討い
ただき、次回の議題とすること
といたしました。

議員活動実態調査については、
前回の会議を受け、調査協力議
員の同席のもと、11月11日に行
った意見交換の結果について委
員長より報告がなされました。

意見交換の中では、正副委員
長案として作成した報告書の骨
子を提示し、これから検討して
いきたいとの考えを示したこと
そして、調査項目に関して、他
市の事例にもある「活動日数」
という視点も重要であることか
ら、各月の活動日数調査を加え
ることについて提案し、その旨
了承いただいたこと、また、議
員活動実態調査の中間報告につ
いては、意見交換を行った結果、
調査期間は1年となっているこ
とから、調査終了後に分析・検
討を行い、報告書をまとめて公
表することを了承いただいたこ
と、以上について委員長から報
告がなされ、その報告内容のと
おり、今後も協議・検討を行ひ
ながら、調査を進めていくこと
を確認しました。

柏崎刈羽原子力 発電所視察報告

平成26年11月12日、18名の議員が参加し、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所の視察を行いました。



視察では、構内にある東京電力ビジュアルハウスの会議室で、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の実施状況について、柏崎刈羽原子力発電所所長及び副所長から概要説明を受けました。

また、6号機の中央制御室、原子炉建屋及びタービン建屋の設備操作や監視を行っている状況等をガラス越しに見学することができました。

その後、会議室に戻り、参加議員から柏崎刈羽原子力発電所の安全対策や地質などについての質疑や意見を交わし、視察を終了しました。



まちづくり講演会を

開催しました

十日町市議会では、過去5回、斯界の著名な講師を招き、「まちづくり講演会」を開催してきました。

今年度は11月17日に十日町市と市教育委員会の共催を得て、クロスステンで開催し、120名の皆さんからおいでいただきました。この講演会は、議員自らの研さんと資質の向上を図ることを目的としながら、市民の皆さまや各種団体、市職員からも聴講していただきたいと開催しているものです。

今回は、「日本文化をになった新潟人」と題し、會津八一記念館とにいがた文化の記憶館の両館常務理事・事務長である武藤 斌(むとう あきら)氏から講演をしていただきました。

武藤氏は、新潟県と新潟県にゆかりの深い文化人の歴史的業績の普及を通じ、郷土へ誇りを持てる人材の育成、地域の歴史や風土などの調査・研究を続けておられます。



講演会では、学術、芸術、医療などの分野で活躍し、近代日本の発展を支え活躍された新潟の文化人の紹介を通して、新潟が人材の宝庫であったことや、新潟の文化力の素晴らしさについて熱く語っていただきました。今後の地域づくり、人づくりへの参考となる貴重な講話を拝聴することができました。来年度も開催予定ですので、ぜひ大勢の皆さまのご来場をお待ちしております。

あとがき

「議会は何してらんだ」、よく聞く言葉です。質問と言っよりは非難の言葉です。私自身、議員になる前にこの言葉を口にしたとき、まず目を通したのが、この「市議会だより」でした。

各議員の一般質問と、市長を中心とした行政側の答弁、常任委員会や特別委員会の報告、一般会計の予算や決算をはじめとしたさまざまな議案の審査報告と結果、さらには各会派の紹介まであり、「なるほど、こんなことをしているんだ」と、なんとなく分ったような感じがしながらも、「でも、議員の仕事ってこれだけ？ 第一、全員賛成の採決が多すぎる。本気で審議しているの？」と思ったことも事実です。

この「あとがき」をお読みの皆さんも当時の私と同じ感想を持ってもらえるかもしれません。今では市のホームページから本会議の様子を映像で見えることもできますが、それだっって市議会のほんの一部です。

議会だより編集委員会では、市民の皆さんにとって市議会がより分りやすく、身近に感じられる紙面づくりに向けて検討に入りました。

(高橋俊一)